

# (福) 日本聴導犬協会 2025 年(令和7年) 度事業報告書

2025 (令和 7) 年 4 月 1 日～2026 (令和 8) 年 3 月 31 日まで

## 事業報告

### Big News:

※2026 年度は、公益財団法人 JKA 補助金にて、壁と屋根など、施設補修ができることになりました。

※創設 30 周年記念(2027 年 10 月)準備を行います。

(1)2026 年 B社推薦。アメリカの財団から「シニアサポート犬普及活動」助成金。有馬もと共同研究者

A:学会発表:25 年度 3 回 ※1

B:普及活動:25 年度 3 回 ※2

※1:『シニア・サポート犬』普及活動とマニュアル 500 部 配布済み。以下、中島主研究員を主体に、発表した国際学会

① 米国学会 RehabWeek2025,2025, 5. 12-16,シカゴ。62カ国1200名参加。

② 2025※ACRM Annual Fall Conference &EXPO,2025. 10. 27-30,シカゴ。1188名参加。※American Congress of Rehabilitation Medicine

③ WFOT Congress 2026, 2026.2. 9-12。バンコク。100カ国以上2300名参加

※the World Federation of Occupational Therapists

※2普及活動。県内新聞で呼びかけ 日本聴導犬協会内での訓練指導 3 日間×2 名様

### I 聴導犬・介助犬事業報告

【認定試験合格】聴導犬チーム2名。介助犬チーム1名。計3チーム

#### 【現況】

・2026 年認定試験受験予定は、聴導犬3チーム。介助犬1チーム。

・活動中 16 チーム(聴導犬 13 チーム。介助犬3チーム)。

※引退:介助犬モアナ 病死のため

2025 年度問合せ&訓練中 21 名様のうち、

(1) 訓練進行中は5名様(うち 3 名様が認定試験合格)。

普及活動と希望者リクルーティング&ご支援は比例するので、運営の両輪として力を入れています。

(2) 【4 月から体験または訓練中 2名様】

(3) 【中断中 5 名様のうち 2 名様はペット聴力お手伝い犬に移行

(4) 課題:訓練整備

【環境整備】2025 年度に、JR 西日本、阪急バス。芦屋高架下商店街での数店で訓練のための同伴許可を頂けた。

2026 年からは、兵庫県からの希望者が増える見通しなので、芦屋市周辺でのパブリックアクセス(デパート、飲食店への同伴)のお願いをする予定。(例:22~23 年で、東京支部(八王子市)でのバス乗車、買い物訓練(イオンとセレオ)で許可いただきました。

(5) ユーザーのリクルーティングツール

「赤い羽根共同募金助成」により「全国の小学校、中学校向けの動画(無料配信)制作。教育委

委員会の協力を得て、全国の小学校、中学校向けに配信だけでなく、ユーザー募集に聴覚情報センターへの配布予定。

(6) 手話通訳士の協力で、隔離されたユーザーさんとのコミュニケーションには、リモート相談会を行う。FBなどで、広報継続。

(7) 2024年4月～差別解消法の合理的配慮により、主催イベントなどへの手話通訳など情報保障が義務化されます。手話の研修化。タブレット(口話の文字化)などの活用を図っています。

## II インターネット関連

(1) セールスフォースを継続。

(2) 会員限定特別 Facebook ページを開設。投稿数のアップなどにより、その充実を図った。

(3) メルマガ配信 会員数 昨年 1200 名 → 2000 名様だが、あまり、効果がなく、解約予定。

(4) クラウドファンディング(CF) 26年2月中。「たかちゃん基金」。シニア犬・引退犬・闘病犬の医療費補助へのCFは目標額を超え、1,511,000円達成。

(5) Zoom 講義および大学で、2校。

(6) Youtube で、シニアサポート犬訓練について、動画配信中。継続に配信中。

(7) 「お宝エイド」への貴金属やゲームなどの寄付支援を増していく

(8) Zoom 手話研修(スタッフ「手話3級試験」に2名が合格。ソーシャライザー5名様と学院生1名。スタッフ3名が受講中)

(9) AirDog 空気清浄機の売上一部寄付を支援としてさらに普及予定

## ■ さらに充実させる SNS 活動

(1) 聴導犬普及の動画配信: 14,277 名様

制作済: 長野県共同募金にて「Web での聴導犬&介助犬講演会動画」を全国の小中学校および関係各所へ配信

合計: 小学校 2校(163名様)。障害関連3ヶ所(14,093名様) その他1カ所(21名様)

(2) 企画中: 動画「犬の問題行動の治し方」を限定 youtube で配信予定

(3) 完備。施設内 Wifi 環境安定化

(4) シニアサポート犬訓練動画、配信中

(5) 赤い羽根助成『聴導犬&介助犬』紹介動画

## III 本部と事務所: 活動

(1) 東京支部<東京都認可 2018年2月～>

・構成: 施設長: MAYUMI(社会福祉法人施設長資格取得)。事務業務委託: M

① 使用日132日。ユーザー利用者数 69 名様

(2) 関西事務所: 支部候補地を検討中

・施設責任者: Y 様

① 使用日数: 34 日、ユーザー利用数 45 名様

(3) 本部:

・施設長: 有馬もと 人員: スタッフ 14 名 → 15 名。(訓練 11 名 事務 4 名) 定期的ボランティア 10 名

<p>① 使用数:365 日稼働のうち特別利用日数:145 日(24 年度 159 日。23 年度 142 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者数 1964 名様</li> <li>・ユーザー利用:11 名</li> <li>・パピークラス&amp;Pro-Dog School:15 回</li> <li>・講演会&amp;相談室:112 回</li> <li>・職場体験&amp;研修:4校 27 名</li> <li>・調査&amp;研究:1回6名</li> <li>・取材:2回</li> </ul> <p>★本部施設は JKA 補助金により 2008 年に竣工。15 年以上経過後の JKA 補助事業により建設された施設の補修費用を補助頂けるシステムがあり、2026 年度で採用(約 1500 万円助成)。</p>
<p>① CF:25 年度 1,511,000 円(24 年度 51,334,500 円。23 年度 5,317,500 円)</p> <p>(1) 収入:55,424,404 円 (遺贈約 1760 万円含む)</p> <p>(2) 支出:67,708,249 円</p> <p>※2025 年度は、スタッフ給与、及びシニア犬介護&amp;医療費のための出費が増えました</p> <p>※信託によるご遺贈: 2027 年より 6 年間毎年 1 千万円のお振込みがあり、6 年後に残額がすべて使用できるようになる信託の契約で、2026 年 3 月末日に、三菱 UFJ 信託銀行の日本聴導犬協会口座に 194,533,311 円のお振込み済み終了。</p>
<p>◆候補犬・協会所属犬</p> <p>(1) 協会犬: 35 頭前後</p> <p>(2) 新規候補犬: 7 頭</p> <p>(3) 聴導犬候補犬ネットワーク 21 か所</p> <p>(4) 新家族 7 頭(補助犬にならない候補犬の里親)リストを作成。</p> <p>(5) 繁殖:より良い候補犬繁殖は、英国聴導犬協会での研修を 2019 年の 6 月に実施済み。身体的&amp;気質的に良い子がいた場合に、繁殖を実施する予定</p>
<p>普及活動</p> <p>(1) デモ&amp;会:112回 バスツアー45回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学&amp;専校での講義:2校</li> <li>・職場体験&amp;研修:4校 27 名</li> </ul> <p>(2) 施設利用数:1964 名</p> <p>(3) ご来所デモ(25 年度 45 回)のための資料充実、魅力的なチャリティグッズ(けいちゃん時計発注済み)作成予定</p> <p>(4) 学院:26 年度 1 名入学。25 年度 1 名入学され、スタッフ採用</p>
<p>『全日本聴導犬ユーザー会』との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国 28 カ所 69 名</li> </ul>
<p>聴導犬・介助犬 認定試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定試験合格:3名</li> <li>・兵庫県依頼で聴導犬認定委員有馬が就任</li> <li>・他団体からの認定試験なし</li> <li>・面接のみ Zoom での認定試験に切り替え</li> </ul>
<p>候補犬と、保護団体とのネットワーク</p>

「聴導犬候補犬ネットワーク」。全国 21カ所(沖縄の Pip 動物保護団体が協力)。
繁殖計画 英国聴導犬協会に研修実施済み。優良な候補犬が見つかり次第開始
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新候補犬:7頭</li> <li>・新家族:7頭</li> </ul>
関係諸動物愛護団体との相互リンク→ARK
インターネット関連
<p>VI: インターネットの活用</p> <p>(1)現状:SNS での展開:Facebook 等スタッフ4名と学院生が参加し SNS を盛り上げます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Facebook 日本聴導犬協会: 20641</li> <li>・Facebook 有馬もと:友達 1958 友達 2612 フォロワー</li> <li>・Facebook 日本聴導犬・介助犬訓練士学院: 2033</li> <li>・Facebook 補助犬&amp;補助犬候補犬&amp;キャリアチェンジ犬の幸せ:1134</li> <li>・Facebook:補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)ユーザーの会」と応援団:1230</li> <li>・X(福)日本聴導犬協会:1697</li> <li>・メルマガ:終了予定</li> <li>・その他、月 1 回の Live 発信を実施できませんでしたが、4 月から開始予定</li> <li>・Live 配信 6 月から開始します。</li> </ul>
補助金&助成金
<p>育成委託事業:補助金 189 万円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>② K 会ご助成 500,000 円</li> <li>③ 宮田村からの光熱費助成金:10 万円</li> <li>④ JK 補助事業不採用</li> </ul>
SNS を通じた資金調達
<p>I: SNS を活用した</p> <p>(1) 資金調達 CF『たかちゃん基金』 1,511,00 円支援。波及効果として➡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①物品支援増加 ②新規支援者増加 ③取材増加につながる</li> </ul> <p>(2) 100 名様からのご支援目標。定期支援 GoodMorinig 日本聴導犬協会コミュニティ:35 名 24 年 36 名 23 年度 26 名。22 年 19 名。21 年 17 名)</p> <p>II:実施済み➡図書:企画を出版社に持ち込む</p> <p>III:実施済み➡動画配信を行う:youtube や Zoom 利用で「シニアサポート犬」訓練動画発信</p> <p>IV:獣医向け DVD 販売継続中</p> <p>V:お宝エイド:貴金属、ゲームなどの買取り</p>
日本聴導犬・介助犬訓練士学院
◆日本聴導犬・介助犬訓練士学院
25 年 17 期生 1 名卒業。26 年 18 期生 1 名
・職場体験&研修生受入れ: 4校 27 名
講演会&講義
<p>I:講演会&amp;講義</p> <p>講演会:112 回 バスツアー45 回</p>

学校関係講義&Zoom 講義:2ヶ所

(3) 施設利用数:1964名

(4)ご来所デモのための資料充実、魅力的なチャリティグッズ(シーズーマスコット、トートバッグ作成済み)をさらに作成予定

(5) 学院生リクルーティング:SNS や学院生体験談などでリクルーティングを実施

## 支部、事務所

**I : 関西事務所:**支部候補地探しは、中断

・施設長:横田様。訓練業務委託:1名。

① 使用:34件

・ユーザー訓練&アフターケア:47名

・希望者面接:2名

・パピークラス:0回

・講演会など:6回

・犬ケア:0回

・取材:0回

その他:1回補助犬相談室 (※支部のための施設準備金として積み立てがあり、時期がきたら、物件探し)

**II・東京支部**〈創設:2018年2月〜〉

・構成:施設長:MAYUMI(社会福祉法人施設長資格取得)。訓練業務委託:M

① 利用件数:132人

・ユーザー訓練&アフターケア:97名

・希望者面接:1名

・パピークラス:11回

・講演会:30回

・犬ケア:0回

・取材:2回(24年0回 23年0回、21年3回)

・その他(経理。労務など打合せなど)

(2) 候補犬の社会化&訓練

認定試験まぢかの聴導犬希望者の訓練および乗車訓練、飲食店訓練などを実施。毎月のパピークラスの実施時の拠点。勉強会にも使用予定。